

05.2.13 神 基礎は国語力アップ

経済協力開発機構(OECD)の調査(PISA)などで日本の子どもの学力が低下しているという結果に教育界が揺れている。OECD調査で

世界トップの教育大国フィンランドの教育の現状や学力問題への対応について、同国科学アカデミー会員の中嶋博・早稲田大名教授に聞いた。

が修士号を持つなど質が高い。教員養成には普通5、6年かかる。日本ではたった2週間しかない教育実習を、半年間やらせるなど中身が濃い。教員は子どもたちが最もなりたい職業。大学でも教育学部は最も難しいコースで、一番優秀な人材が教師になっている」

「日本では総合的学習の見直しなど指導要領批判も出ている。」

「基礎・基本は大事だが、暗記中心の詰め込み学習で学力問題が解決できるとは思わない。授業時間を増やしたり土曜日授業をという声もあるが、疑問だ。文部科学相の総合学習見直し発言も、ちょっと待てと言いたい」

「PISAは、将来にわたって学習する力についているかどうかを調べるもので、知識の量を測定するものではない。問題解決、批判的思考、コミュニケーション能力、自信など教科を横断した力が求められる。それが21世紀の学力の基礎・基本だ」

「フィンランドは読解力、科学的応用力がトップ、数学的応用力が2位、問題解決能

教育大国フィンランドの現状

早大名誉教授に聞く
中嶋博

力3位で、総体で世界のトップだ。

「教育省は成功の要因として、教育の機会均等、総合的で非選別的基礎教育、質が高く決定権を持つ教員などを挙げている。テストもなく生徒のランクづけもない」

「学校現場の裁量が大きい

由にできるようになった」

「新しい指導要領では、例えば小学校6年では、週26時間のうち11時間が総合的学習に充てられる。個人的な成長環境への配慮、人間とテクノロジーなど7つがテーマで、これが教育課程全体を貫く原則にもなっている」

テストなく「総合」重視

というが。

「学校管理を国から地方にという北欧関係協議会の勧告に従い、教育制度を見直した。1993年に教科書検定を廃止。学習指導要領も94年の改定で枠組みだけになり、分量も10分の1になった。どんな教科書を使って、どう教えるかは、現場の必要に応じて自

「日本では、習熟度に応じた学習が学力低下の処方せんとしてもはやされている。」

「フィンランドでは、習熟度別に分けたりせず、できる子どもできない子ども同じクラスで教える。子ども同士の教え合いで、みんなでレベルアップという助け合いの考え方が浸透している」

か。

「PISAは国際的な学力診断。診断を基に冷静に処方せんをつくる必要がある。それは「生きる力」の育成を自指したものであるべきだ」

「大切なのはすべての基礎となる国語力のアップ。それには学校と家庭の協力が必要だ。特に低学力層の子どもたちへのケアが必要だ。優れた教員養成にかける熱い思いと総合学習を強化して「生きる力」の育成を図るフィンランドに学ぶところは大きい」

大をイミ
し大教授フデ
ひろ早大にカ
ま早大84年
な生まれ。現職。科学アカ
1923年。学院経
1923年。学院経



「日本の学級規模は中学校ではOECD平均を10人も上回るが、フィンランドはOECDでも最小規模の国の1つ。1人ひとりに合った指導を習熟度でなく、少人数制というところで実現しようとしているところが日本との大きな違いだ」

「レベルの違う子を同じ学級で教えるとなると、先生の力が問われるのではないか。」

「フィンランドでは全教員

「教育費の対国内総生産(GDP)比はフィンランドが5.7%だが、日本はOECD加盟国最低の3.5%。国を挙げて教育に金をかけないと日本は沈没する」

(聞き手は共同通信編集委員 山田博)

7 天然資源は「木と頭」

高い学力の秘密は何か。教育省のマルック・リンナ事務次官に聞いた。



マルック・リンナ事務次官
1942年生まれ。行政裁判所調査官、教育省高等教育局長、教育統括官などを経て2001年から現職

るといふ習慣も根づいてい
た。さらに、カリキュラム作
成の権限などを自治体に移
したことも重要だと思う。

——どんな政策が効果的
だったのか。

成績によって11歳の時点
で進路が二つに分かれる能
力別の初等中等教育を、だ
れもが9年間、同じ環境で
学ぶ総合制へ1970年代
に切り替えたことが大き
い。幼いうちに能力を差別
せず、才能を発揮する機
会を公平に与えるようにし
た。

——国づくりの中の教
育の位置づけは。

前の教育大臣はフィンラ
ンドの天然資源を問われ、
「木と頭」と答えた。フィ
ンランドは昔から林業に依
存してきたが、「頭」につ
いては、教育によりハイテ
クやサービスの領域で競争
力があるということだ。

高い学力 各国が注目

OECDの2003年国際学習到達
度調査で、読解力と科学的リテラ
シー（活用能力）で1位だったフ
ィンランド。人口約520万人の国
の教育のあり方に注目が集まり、
各国から視察が相次いでいる。
これを受けて、フィンランド政
府は教育の将来を考える国際会議
を3月14～16日にヘルシンキ大学
で開いた。教育の歴史や社会的背
景を、国家教育委員会やヘルシン
キ大の教授陣が解説するこの会議
には、33か国から参加。アジアか
ら、日本の文部科学省や国立教
育政策研究所のほか、韓国、マレ
シアなどの専門家が出席した。

——今後の課題は。
いくつかの国際調査によ
ると、フィンランドは学校
が楽しくない」という子ど
もの割合が高い。学校カワ
ンセラーからは、心理的な
問題が目立ってきたといつ
た。声も聞こえてくる。義務教
育後には高校が職業学校へ
の進学を奨励しているが、
行かない層がある。中学校
での指導を充実させたい。
——創造力を伸ばすため
の方策は。

創造力を高めるのは難し
い。出来るのは、人間とし
て独立し、自ら問題解決の
方法を見つけ、言われたこ
とをうのみにしないような
生徒をしっかりと育てるこ
とだけだ。

——小中学校の特別コー
スなど、個性を伸ばす教育
に力が注がれているが、学
業が得意な子をさらに伸ば
す特別な取り組みは。

それが今フィンランドで
も話題になっている。才能
ある生徒に対応出来ない
いのではないかという心配
が広がっている。ただ、国
際学習到達度調査の結果を
見ると、成績上位の生徒の
割合は低くない。才能ある
生徒のためにだけに特別な学
校を作る考えはない。

教師の資質と意欲が、フィンランドの教育を支えている。

一位は教師で26%。2位以下は、心理学者、芸術家・音楽家(各18%)、建築家(15%)、医師(10%)、看護師(9%)と続く。民間の調査会社が昨年、フィンランドの高校生2000人に、将来やりたい職業を聞いた結果だ。

この数字が今月、ヘルシンキで開かれた教育に関する国際会議で報告されると、会場はどよめいた。

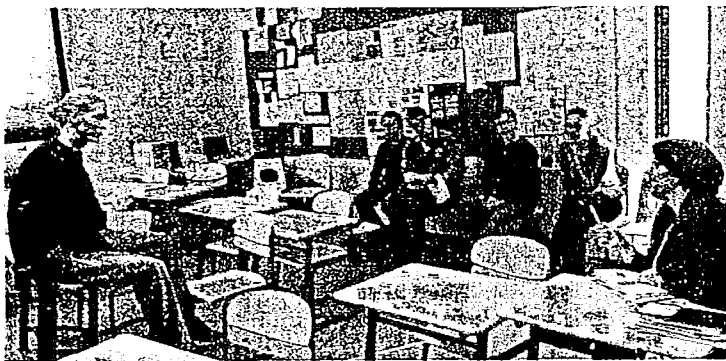
ヘルシンキ大学教員養成担当学科のマッティ・メリ学科長は「資源がなく、人口が少ないわが国は、国民の知的水準を上げることが不可欠。教師が重要な仕事であるという認識は自然に生まれた」と説明する。

9大学に教員養成学科があり、倍率は約10倍。しかも、フィンランドの大学は、

教育ルネサンス

No.43

授業の後、歴史教師のハマライネンさん(右端)らと話すエルヌステーンさん(左端)



5 教師も資質向上に意欲

教員養成に限らず、最短でも5年かかる「修士修了」が一般的だ。

「この仕事の魅力は、自分自身が一生勉強しながら、人材を育てられることです。自分の頭で考えられる生徒を育てたい」

エルヌステーンさんのこの日の授業は、米国の南北戦争がテーマ。中学1年生に、講義だけでなく、生徒を奴隷制の容認派と反対派に分けて討論もさせた。

「平等」「人権」「人種」といったキーワードを事前に示したほうがいい」「差別用語を使ったらすぐに指摘し、言葉の背景を説明すれば勉強になる」

授業の後、歴史教師のリーザ・ハマライネンさん(50)の講評や、見学していた4人の学生との討論が20分間続いた。

エルヌステーンさんは、すでにこの学校には半年ほど前から足を運んでいるが、こうした実習を、授業見学も含めて55回続ける。

ヘルシンキに隣接するエスボ市キロ小学校の教師レラ・ユースリンさん(46)は、4年生を2人の同僚と担当しながら、博士論文に取り組み。

同僚のミア・スホネンさん(33)は昨年、市の予算で、パソコンによる画像編集講座を2日間受講。その後も、インターネット上の著作権の勉強会に出たり、表計算ソフトの研修を

受けたり、自分の資質向上に余念がない。フィンランドの教師は、1年に3日間の研修を受ける権利を持つ。国や自治体や大学が、様々な研修を用意しており、3日を超える

と、校長と話し合ったうえで受講する研修を決める。不在の間は、教師志望の大学生らが代役だ。

日本では...

免許更新制も検討

国立大学の教員養成課程の志願倍率は5倍前後。教育実習は4週間ほどだが、最近は、1年生から現場体験を積ませる大学もある。

現職の教師で、大学院修士修了の「専修免許」を持つのは、小学校1.4%、中学校2.7%(2001年調査)。ただ、研修の一環で毎年約1000人が大学院に進んでいる。法的には、初任者研修と10年経験者研修が教員の義務。国は、資質向上策として、教員免許の更新制や専門職大学院の設置も検討している。

ご意見をお寄せください。〒100-8055(住所不要)読売新聞東京本社教育企画取材班。ファクスは03・3217・9908。電子メールはkyouiku@yomiuri.com

お父さんも読み聞かせ

させたり、本を読んだり、塗り絵で遊んだりして過ごします。午後は40人もいるので「きょうかです」といいます。

クラブの壁には「みんなの約束」が張ってあった。

「きたないことは使わない」に始まり、「おやつの前に宿題を」とも。学童クラブは、宿題をこなす場でもあり、その活動を「宿題クラブ」と呼んでいる。早朝に行うクラブもある。

小学校3年生以上になると、放課後を過ごす場合も、友人の家や図書館、青少年センターが提供する様々なクラブといった具合に広がる。ただ、保護者が勤め先から帰宅する時刻が早いので、子供たちだけで過ごす時間はそう長くはない。

学校外の環境も、フィンランドの教育の成果を支えている。

「お父さんに毎日、本を読んでもらっているよ」

ヘルシンキ市内の会社員ペッカ・モイラネンさん(43)宅で、長男のエーロ君(9)が元氣よく答えてくれた。普通なら小学校3年生の年齢だが、1年飛び級をされていて4年生だ。

「うちでは、本を読んでくれるのは、お父さんの役目よ」と二女のサトゥさん(14)(中学校2年)が続ける。「私の時も、小学

No.44

教育ルネサンス

生の時はずっと読んでくれた」と長女のタルさん(17)(美術高校1年)も振り返った。

モイラネン家は、妻のアルヤさん(43)も小学校教員として働く。共働きの典型的な中流家庭だ。

フィンランドでは、小学生の間ぐらゐは、親が本の読み聞かせをするのが普通だ。父親が読み手になることは珍しいことではない。

家庭教育に参加する機会が少ない日本の父親との社会的な環境の違いは、フィンランドの会社が始業も終業も早いこと。始業は午前8時ごろ、終業は午後4時

ごろが一般的だ。家族そろって食べる夕食の時間も早い。

モイラネン家も4時台まで子供3人と妻も帰宅、ペッカさんが帰るのを待って午後5時半には食卓を囲む。

「フオメンタ(おはよう)」午前7時25分、ヘルシンキ市に隣接するエスポー市の小学1年生、ハンナ・パ

ーソネンちゃん(8)は、父親に連れられて学童クラブにやってきました。学校の隣に

増える学童クラブ

日本では...

共働き家庭の増加もあって、日本でも放課後小学生を預かる「学童クラブ」の需要が高まっている。

厚生労働省の調査では、昨年9月時点で1万5133か所あり、5年間で約5000か所増えた。13年生の約15%、4~6年生の2%が登録している。厚労省は需要の高まりに応え、2009年までに、全国の小学校区の4分の3に当たる1万7500か所の設置を目指している。

あり、市の公社が運営している。

父親は、すぐ会社に向かい、ハンナちゃんは学校が始まるまで自由に過ごす。

共働きの多いフィンランドでは、子供を預かる学童クラブが充実している。特に小学1、2年生向けには、自治体が無料で用意しなければならない。

ただ、朝の利用は有料。ハンナちゃんの通う学童クラブでは、1回3時(約4

20円)かかる。この朝は8人がやってきた。

3人のスタッフの1人、メリア・コフタマキさん(25)は、「朝は軽い食事を

小学校3年生以上になると、放課後を過ごす場合も、友人の家や図書館、青少年センターが提供する様々なクラブといった具合に広がる。ただ、保護者が勤め先から帰宅する時刻が早いので、子供たちだけで過ごす時間はそう長くはない。

学歴より経験重視

日本の教育との違いは何か。フィンランド在住の日本人に語り合ってみよう。

安藤 今年8月に長女が小学校に入学するが、学校説明会で、始業時刻を何時にするかについて、校長先生が保護者と相談し始めたのには驚いた。

飯塚 小学校の場合、授業開始時刻は曜日によって違う。しかも、時間割に書いてあるのは始業と終業時刻だけで、各科目の授業の進み具合を見ながら、先生が時間割を決めていくという学校も珍しくない。

安藤 学校や先生の考え

教育ルネサンス

No.46



や判断を尊重する伝統が根付いている。

の市場占有率が世界の3分の1というIT(情報技術)

ヘルシンキには多いが、人気が高い。小学3年の長女も音楽コースに入った。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

ヒルトウネン 携帯電話

企業ノキアの国だけに、IT教育に力を入れていて中学を見学すると、設備や授業には圧倒される。

安藤 計算力はあまり重視されない。小学3年あたりから電卓を使わせる先生もいる。ヘルシンキ近郊のバンター市のある小学校では、机に電卓が埋め込んであるそうだ。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 親はみな教育熱心だ。音楽や語学などを手厚く学ばせる特別コースを持つ小中学校がある。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

安藤 学校の成績評価は幼稚園から中学までは秋学期と春学期で1回ずつある。教科ごとに4~10点で評価し、小学2年生以下の

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

飯塚 高校への進学は中学の国語、数学、理科、外国語など主要教科の平均値で決まり、基準は70点以上。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

3人は伴侶がフィンランド人で、子供たちは現地の学校に通っている。

ご意見をお寄せください。〒100-8055 (住所不要)

読売新聞東京本社教育企画取材班。ファクスは03・32

17・9908。電子メールはkyouiku@yomiuri.com

見捨てぬ指導 共感の声

学びたい。参考しできれは。読者の声にはフィンランドの教育への共感がこぼれ出す。

「うらやましいスタート教室」というタイトルのメールを送ってくれたのは、小学一年生の二女が3月生まれという茨城県の39歳の主婦。3月25日付で紹介した「スタート教室」は、小学校入学が早いと判断された子供が、小学校への入学を一年遅らせて通う就学準備のための場だ。

教育ルネサンス No.47

「幼稚園生みたいでこめんね」を何回も繰り返した」と言うお母さんは「日本でも飛び級は導入されつつあるのですから『その逆も、ありでは』と思います」

幼児教育に手厚いフィンランド。「遊び中心に気ままに幼稚園生活を送る日本では、話を最後まできかんと聞かない子、勝手な行動をとる子が増えている」。パートで幼稚園に勤める千葉県船橋市の女性からは、小学校への準備の場という位置づけが明確な幼稚園を「見習うべきだ」という意見が届いた。

「幼稚園生みたいでこめんね」を何回も繰り返した」と言うお母さんは「日本でも飛び級は導入されつつあるのですから『その逆も、ありでは』と思います」

先生たちが研修に積極的に取り組むのも、フィンランドの特徴だ。小学校の先生が中学や高校の免許を取ると給与がアップする制度（3月29日付）には先生からの意見が寄せられた。

兵庫県の県立高校教諭は、「教師の給与待遇は教育問題解決のキーポイント」と指摘。「費用のかかる研修には、住宅ローンなどに苦しみ教師は参加できない」と本音ものぞかせた。

2割の子に「補習」フィンランドの教育を取材中最も印象に残ったのは授業の流れから遅れそうになった子供を手厚い補習授業で支えていく「特別補助教育」の制度だ。子供たちの約2割が義務教育の9

「発達障害の子を持つ親と支援者の会の発足準備を進める神奈川県45歳の男性は、3月24日付で紹介したフィンランドの教育関係者の言葉への共感を投稿に託してくれた。『教育というポットに乗った子どもは一人たりとも落とせない』

年間一度はこの制度のお世話になるといふ。感想を尋ねると「すかさず『恥ずかしいことではない』という答えが返ってきた。恥ずかしいどころか、保護者や子供は「積極的に利用すべき権利だ」ところから思っていた。西島徹

ご意見をお寄せください。〒100-8055(住所不要) 読売新聞東京本社教育企画取材班。ファクスは03・3217・9908。電子メールはkyouiku@yomiuri.com

学力世界一の国から

フィンランドの教育

06.4.30
神中

「フィンランドは小学校や高校より中学が一番、教育予算を掛けます」。フィンランド国家教育委員会を訪ねると、レイヨ・ラウカネン顧問が、学力世界一の舞台裏を披露した。

小学校から中学に移ると、急に勉強の範囲が広がり、難しくなる。「学力格差が広がりやすい。そこで下位層を底上げすれば、平均点が上がるのは当然だ。OECDの学力調査結果でも日本は上位と下位の学力差が大きく、フィンランドは小さいことが分かった。

▽1学級18人

ラウカネン顧問によると、小学校は一学級平均二十五人だが、中学は十八人

で、教員を手厚く配置。日本やOECD加盟国の平均予算は、小中学校と段階が上がるにつれて多くなるが、高校よりも中学に力点を置く。

中学に重点

落ちこぼれはつくらない

ヘルシンキ大付属中学校の数学の授業。「解きたい方の問題を選んで」と、女性教師が十四人の生徒に声を掛けた。円の面積を求め

多い中学生への予算
2002年の日本とフィンランドの子ども1人当たりの教育予算は、小学校が約6100びと約5100びと
……
約6100びと約5100びと

が、高校は約7300びと約6500びと日本が上回るが、中学校は約6600びと約8200びとフィンランドが上回っている。(OECD調査)
……
の子が飽きないように。ついてこれない子は別にサポートする。同中学の別の教師が解説した。遅れた子には補助教員を付けたら、特別授業を行ったりする。

別な指導」が必要な子の割合について、日本はゼロと回答したのに、フィンランドは7%とのOECD学力調査の結果が公表された。両国の意外な数字に会場からざわめきが起こった。
フィンランドの数字がこれほど高いのは、勉強の遅れた子には「特別な指導」が必要と考え、底上げを狙う対象にしているからだ。学力の下位層に特に配慮し、「落ちこぼれ」をつくらない教育が、世界一の実績を生んでいる。

を置く。日本で学力向上の切り札のよつにもはやされる習熟度別学習は、フィンランドでは行われていない。一九八〇年代まで実施されていたが、「選別につながる」との批判でとりやめた。教室に混在する学力差のある生徒にどう対応するのか。



ヘルシンキ大付属中学校の数学の授業は少人数で進められ、教師が丁寧に指導していた=05年12月(共同)

「理解できない子も、できる子と話して正解へのヒントに気づく機会を得られる。勉強の遅れた子だけ集めるとその機会を奪われる」
▽特別な指導
フィンランド政府主催の教育セミナーの会場。「特

